

# しほ

Shika Town

No.140

4

2017  
(平成 29 年)

## 志賀町は 右近ゆかりの地

戦国時代の多才なキリシタン大名・高山右近が、没後400年を迎え、ローマ教皇庁から殉教者として「福者」への列福が認められました。右近の墓があり、子孫が暮らす志賀町でも、喜びの声が広がっています。

高山右近記念公園（末吉）の銅像と地域住民



自治体広報紙配信  
アプリ「マチイロ」  
ダウンロード  
はこちら



# 志賀町は右近ゆかりの地

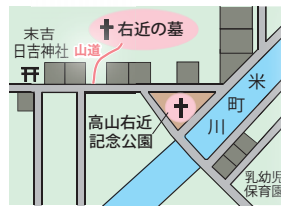
# 高山右近『福者』に

戦国時代のキリシタン大名・高山右近が、カトリック信仰の模範を示したとして、平成29年にローマ教皇庁から福者の称号を授かりました。

※「福者」は、カトリック教会で最高の崇敬対象「聖人」に継ぐ称号

2月7日、大阪市中央区の大阪城ホールで列福式があり、右近の子孫で、代田に暮らす高山豊次さんも列福式に参列しました。式では、ローマ法王代理のアンジェロ・アマート枢機卿を迎え、右近ゆかりの石川県人や国内外の参列者約一万人が祈りを捧げ、喜びを分かち合いました。

右近の墓があり、子孫が暮らす町内でも喜びの声が広がっています。



末吉の山にある高山右近の墓。右近の孫の一人がマニラから密かに遺骨の一部を持って帰国し、墓を作った。昔からこの山は「しのんこ」と呼ばれ、代々板尾甚左家が墓守をし続けた。

## 高山右近の墓と子孫

マニラで病に倒れた高山右近。63歳でその聖なる一生を終えましたが、その子孫は、志賀町の代田と大分県萩原に残っていると伝わっています。

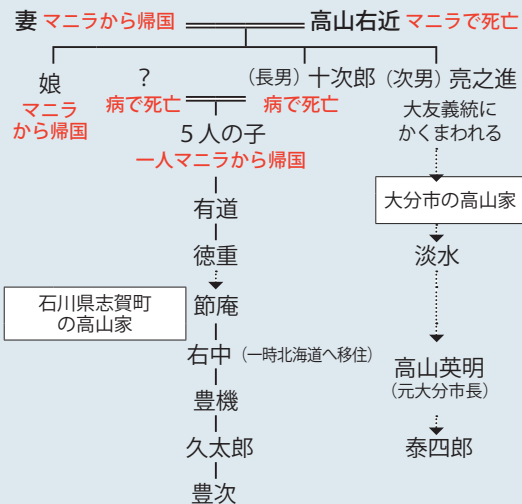
右近と共に、マニラへ渡った孫の一人が、右近の死後密かに帰国し、志賀町末吉の板尾甚左家を頼って移住し、墓を作りました。末吉で医者を営み、「甚左医者」と呼ばれていました。しかし、当

## 墓を守り続ける地域

末吉にある高山右近の墓は、板尾甚左家が近年まで世話を続けてきました。平成10年に高山さんを顧問とする「高山右近をしのぶ会志賀」が発足し、墓守しています。翌年、右近銅像をしつらえた記念公園を整備し、ランドマークになっています。末吉区や町は、右近の生涯に興味を持つ観光客のため、墓へ繋がる山道を整備し、右近をしのぶ環境を整えてきました。

時キリシタンは邪教とされていたため、迫害にあり、一時北海道の蘭越に移住。そこでも医者をして（蘭越町史に記載）、信教の自由が許された大正の初めに、現在の七尾市田鶴浜町に移り、医者を生業としていました（田鶴浜町史に記載）。その後、子孫は現在の代田に定住し、現在は、右近から数えて16代目となる高山豊次さんが暮らしています。

### 高山右近 系図



### 高山右近の16代目当主

たかやま とよじ  
高山 豊次さん (86歳)

2月7日の列福式に出席し、右近の偉大さを改めて感じました。地位を捨てて信念を貫き、さまざまな困難に耐えてきた右近や先祖を見習い、誠実であることの大切さを後世に伝えていきたいです。また、皆さんの地道な積み重ねに感謝します。これを機に、まちおこしへの機運も盛り上げればと期待しています。



# 祝ユスト高山右近列福



## たかやま うこん 高山 右近 (1552 ~ 1615年)

戦国時代の多才なキリシタン大名。大阪で生まれ、12歳に洗礼を受けた。織田信長や豊臣秀吉に仕え、高槻や明石を統治。秀吉のバテレン追放令で、前田利家に保護され、加賀藩領で26年間を過ごす。千利休の高弟「利休七哲」の一人で、茶の湯文化の形成に力を尽くした。また、金沢城の修築や高岡城を設計した建築家であり、徳川家康も一目おく戦術家。1614年に江戸幕府の禁教令でフィリピン・マニラに追放され、到着後まもなく病死。領地や地位を失っても信仰を守り、争いのない世界を目指した人物。



# 右近がらみとう



販売：御菓子のこぼり ☎ 42-0025 (富来地頭町 6-163) 価格：各味小箱 350円(税抜)、  
鍵又菓子舗 ☎ 42-0058 (富来地頭町 7-10) 4箱詰め合わせ 1,700円(税抜)

絵 / 中田 茜 (金沢美術工芸大学油絵画専攻 2年)

### 福者右近を祝して 右近がりんと開発

高山右近が、ローマ教皇庁から「福者」の称号を授かったことを祝い、ゆかりの地である志賀町では、町内の菓子屋に依頼し、「右近がりんと」を開発しました。

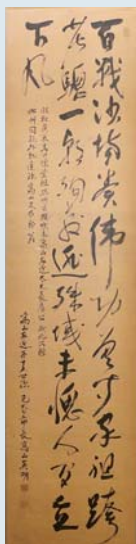
町の委託を受けたのは、町内菓子店の「御菓子のこぼり」と「鍵又菓子舗」。味は、なかじまな・むらさきいも・のとかぼちゃ・こーひーの4種類。パッケージに掲載した右近のキャラクターは、金沢美術工芸大学の学生がデザインしました。

2月9日には、金沢市で感謝のミサがあり、町では出席者にかりんとうを配り、志賀町をアピール。注文の問い合わせも徐々に増えています。開発に携わった小堀正宏さんと鍵昌江さんは「能登の食材を使い、一つ一つ手作りで、素朴な味に仕上げました。これを機に町にも足を運んでほしい」と話しています。

※ユスト高山右近・高山右近の洗礼名

### 高山家に 伝わる掛け軸

この掛け軸の筆者は、右近の次男・亮之進の子孫とされる大分県の高山英明氏(元大分市長)の書であり、右近の長男・十次郎(外記)の子孫とされる代田の高山久太郎氏宛てに送られたもの。



### せつあん 高山節庵 の画像

代田の高山家には、代々受け継がれている右近節庵の画像があり、その賛文には、「高山氏は右近の子孫である」と記されている。筆者は田鶴浜悦寺の禅僧で、1865年に書かれたもの。



### 高山右近記念公園

末吉地区は、右近が加賀藩から得ていた知行地の一つとされ、公園内には、十字剣を手に平和を祈る右近の銅像が立っている。銅像は西森正昭の作品で、金沢城や高岡城、高槻、小豆島、マニラにもある銅像と同じ。子孫の高山豊次さんが平成11年に建立。